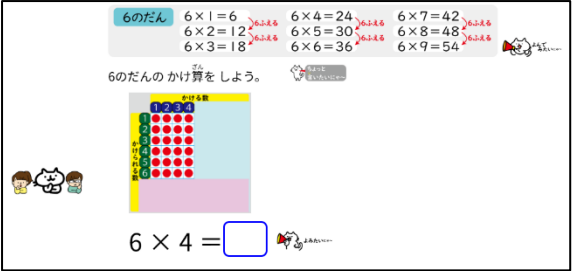


単元名：かけざん 2（6の段）

付けたい力：

- ・「6がいくつ分」という考え方で、6の段の九九を理解する。
- ・6のまとまりで数えることができる（6，12，18，…）。

学習活動	指導上の留意点
1. 既習事項を確認する。 T：算数を始めるよ。 この問題は解けるかな。 2. めあてを確認する。 T：この時間は、6のだんの学習をするよ。 3. 教科書に掲載されている例題を解く。 4. 「6がいくつ分」という考え方で、6の段の九九を理解する。 T：6の段は、いくつずつ増えるのかな。 赤い●を数えてみよう。  5. 「さくらmath」を起動し、個々の課題に挑戦する。 T：もう一度確認できるよ。 バージョンアップしてみようかな。 次のページに進むんだね	・前時までに取り組んでいる、できる課題を提示する。 ・終了時刻を明示する。できれば、「タイムタイマー」など時間の見通しがもてるものを使いたい。 ・例題に使われている挿絵をプロジェクターなどで投影し、大きく視覚化し焦点化したい。 ・プロジェクターなどに投影して、共有化を図る。 ・声に出したり、「よみたい」アイコンをクリックして、音読で確認したい。 ・子どもの実態に合わせて、数問で展開4に進むことも考える。 ・不安が大きい子どもなどがいる場合は、全問解いても良いが、テンポ良く進めたい。 ・暗唱へとつなぎたいので、プラスの言葉を投げかけたり、見ないで答えたりしたときには大いに褒め、ポジティブな感情が湧くように進めたい。 ・「2巻 かけざん 2」を選択したかを確認する。子どもによっては、教師が選択をして渡す。 ・1ページ目から取り組むことも含め、自己決定を促したい。 ・なかなか自分で決められない場合は、1ページ目から取り組むことで、復習へとつながる。 ・周囲の音の大きさには気をつけ、場合によっては場所を改めることも認める。